

わかば

会員の皆様へ

ワカバ会会長 笠原 俊也
(15-4)

東日本大震災により被災された会員及びご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災は、東日本の太平洋沿岸部に過去最大級の人的被害を含む壊滅的被害と未曾有の原発事故を引き起こし原子力発電に対する不信をもたらしました。

科学技術がどれほど発達しても、自然災害のもとでは、いかに我々の日常生活が脆く、また危険に満ちているかを改めて知る悲しい出来事となりました。そのような中で、被災者の方々の冷静で謙虚な態度や、暖かく献身的な救済者の方々には心を打たれた方も多いと思います。

人間は地震や津波等の自然災害そのもの

ワカバ会

69号

東京都立三田高等学校
同窓会
社団法人ワカバ会〒108-0073 港区三田1-4-46
電話 (03)3451-0227
FAX (03)3452-4590
E-mail: t-mita@wakaba-kai.org
http://www.wakaba-kai.org/時間 午前10時～午後4時
休日 土曜・日曜・祝祭日

発生を止めることはできませんが、自然災害に備えて防災の準備をし、被害を最小限に食い止めることはできるはずで、この災害を貴重な経験として、国と国民が一体となって自ら災害克服していくことを願うばかりです。

一日も早い被災地の復興と被災者の方々の安心安全な生活の回復をお祈りします。

さて、昨年の総会でご承認頂いた新公益法人制度に基づく一般社団法人の移行については、その後理事会及び新公益法人制度移行委員会において、具体的な移行方法及び手順並びに移行後の法人の運営・活動・資産のあり方等について鋭意検討を続けております。今後より良い結論と方法を求めて参りたいと思います(詳しくは別稿の報告をお読み下さい)。

皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

平成23年度 同窓会・懇親会のご案内

日時：平成23年 5月22日(日)

正午～午後3時(受付11時20分より)

会場：総会 母校体育館
懇親会 母校音楽講堂議題：平成22年度事業報告／決算報告
平成23年度事業計画／
予算案審議／評議員改選

会費：2,000円

- ◆ 議事終了後、音楽講堂に場所を移し、先生方、同窓生共に昼食をとりながらのなごやかな懇親会です。お料理も飲み物*も十分用意しています。
- ◆ 新会員(63回生)は、無料ご招待です。
- ◆ 今年も福引大会を行います。たくさんの賞品にご期待ください!
- ◆ ホームカミングデーにあたる方(ご案内状送付済)には特典があります。次のページをご覧ください。

*飲み物については、昨年から学校の要請により、非アルコール飲料だけを提供することになりましたので、ご了解ください。

今回から、企画委員会主催行事を別紙でご覧いただけるようになりました。裏面が申込書となっております。皆様のご参加をお待ちしています。

「Mプロジェクト」スタート

ワカバ会名誉会長
三田 高校 校長 及川 良一



はじめに、この度の東日本大震災で亡くなられた多くの方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興に向け、私たちに何ができるのか、その思いが胸を突き上げます。

本誌前号で「新しい酒は新しい革袋に盛れ」との聖書の言葉を引きました。この「新しい革袋」として、今年度「M(三田)プロジェクト」をスタートさせました。ねらいは「知識基盤社会」「グローバル化」を生き抜くために不可欠な、知識・情報を不断に更新し繋ぎあわせ、主体的に課題解決を図っていく力の育成、競争や対立、軋轢を恐れず、進んで多様性やヘテロジェナイティ(異質性)の世界に飛び込むチャレンジ精神と発信力の育成です。

Mプロジェクトのスタート、オリエンテーションキャンプ(HR合宿)では、自学の基本を身につける学習ガイダンス、3年後の進路実現に向けた進路ガイダンス、レクやワークショップによるHRづくりを行いました。

プロジェクトの「ホップ」は1年「奉仕」。奉仕体験活動、国際理解行事、進路行事等を通して自己理解を深め、課題意識や将来の目標や人生の目的に対する意識を育みます。その過程は「M1ノート」に書き込まれます。

「ステップ」は2年の「課題研究」。自ら課題を設定し解決に取組み、その成果を2000字の論文にまとめプレゼンを行います。「課題研究」を「M2ノート」がサポートします。

「ジャンプ」が「高い志の進路実現!」です。

東日本大震災は未曾有の「国難」と言われます。「国難」を乗り越え日本の復興に「貢献」する人材を育成するとの気概をもってMプロジェクトに取り組む所存です。

◎ 被災者へ救援募金のお願い

ワカバ会では、東日本大震災で被災された方や会員へのお見舞いや、被災高校生などへの救援募金を受け付けることにしました。

東京都が受け入れる避難家族の子弟を、都立高校が引き受けることになり、本校でも受け入れが始まっております。(4月7日現在4名)

ワカバ会からも、被災高校生へ奨学支援金などを提供したいと思います。

会員の皆様のご協力をお願いいたします。(品物は取り扱いません)

下記口座にお振り込みください。振込手数料はご負担ください。締切は7月末まで。

○ 郵便振替

加入者名：社団法人 ワカバ会
口座番号：00150-1-132719

○ 銀行

三菱東京UFJ銀行 田町支店
口座名：社団法人 ワカバ会
口座番号：4248089

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ!

ワカバ会では「ホームカミングデー」を総会日に併設し、年々盛会となっています。今年度該当する皆様には、先日、別途お便りを差し上げましたが、お誘い合わせの上、ぜひご出席ください。当日ご出席の皆様には、オセンチ山をバックにした集合写真の進呈や特設テーブルの設定などの特典があります。クラス会や同期会としても活用していただきたいと思ひます。

今年のホームカミングデーにあたるのは、昭和6年(第64回生)、昭和16年(第614回生)、昭和26年(三田3回生)、昭和36年(三田13回生)、昭和46年(23回生)、昭和56年(33回生)、平成3年(43回生)、平成13年(53回生)の各3月に卒業された方々です。

◎財政逼迫に伴う 措置について

ワカバ会は、会員の皆様の維持会費によって活動を行っています。軽井沢の山荘は昨年閉鎖いたしました。これまで山荘の赤字を補填してきた駐車場収入が近年急激に減少しております。また、2万人の会員のうち毎年維持会費を納入してくださる会員は約4千人ですが、これまで主力だった第六高女卒の大先輩の引退などもあり、維持会費の収入も毎年減少しており、ワカバ会の財政が逼迫してきております。

このため、会報「わかば」は、これまで年2回2万人の全会員に送付してきましたが、この郵送料が500万円近い会報発行費の4分の3以上を占め大きな負担となっております。全会員への送付は今年度から5月発行の春号を基本とし、11月発行の秋号については、前年度の維持会費納入済の会員のみで郵送することいたします。

なお会報「わかば」の内容はワカバ会ホームページに収載し、どなたにもご覧いただけます。

ワカバ会の活動を維持するため、より多くの会員の方々が毎年2千円の維持会費を納入していただくよう、格段のご配慮をお願いいたします。

◎奨学生を5名に増員 23年度の丸山記念奨学金

ワカバ会の主要な母校支援活動の一つである、三田高校在校生への『ワカバ会丸山記念奨学金』は、昨年からの返還の必要がない給付制(年額一人6万円を2回に分けて支給)になり、昨年は3名に給付されました。

今年度はさらに予算を増やし、5月に5名を募集し、他に家庭環境の急変などの緊急援助用に1名分の予算を計上しています。昨年は、募集が7月と遅かったため、今年度は募集要項の配布を新学期に合わせて早め、ワカバ会奨学金事業の周知を図り、在校生を支援します。

奨学金事業は、ワカバ会が新公益法人制度のもとで一般社団法人に移行した後、新たな整備し、長く継続を図っていく計画です。

新公益法人制度移行について(V)

— 一般社団法人を目指し、準備を進める —

ワカバ会副会長 平山 孔嗣(29-2)

平成20年12月より施行された公益法人制度改革関連法により、特例民法人となったワカバ会は、今後存続するためには、平成25年11月までに組織変更の申請・認可が必要になっていきます。

22年2月から会員有識者と理事による新公益法人移行委員会が検討を重ねた結果、共益的な一般社団法人を目指すこととし、昨年のワカバ会評議員会、総会で皆様にこの方針を説明し、ご承認をいただきました。

共益的な一般社団法人は収益事業に対してのみ従来通り課税されるものであり、同窓会としての目的達成には全く支障は生じず、母校三田高校への貢献も継続できます。社団の財産は公益目的支出計画に基づき、公益的事業に将来にわたって支出されてゆくこととなりますが、監督官庁である東京都との話し合いで、現

実的な指導を頂き、従来からのワカバ会の活動である、奨学金事業、各種の企画事業、同窓会会報の発行を含めた、具体的な計画の目途が立ちました。

社団組織の運営については、新法による厳しい要件があり、どのように対応するかが今後の問題です。例えば会員の過半数出席による総会、代議員制をとるなら2年ごとに選挙による選出、といった難問があり、検討委員会で引き続き、より良い方策を検討しております。これらを含んだ一般社団法人としての定款策定が最も重要な課題となっております。

現在の諸般の情勢から、23年5月の総会では経過概要をご説明し、平成24年総会か、あるいは臨時総会を持って、皆様に全体計画のご承認を頂き、監督官庁に申請して、新制度へスムーズな転換を図ってゆきたいと考えております。

ワカバの輪

静岡ワカバ会の報告

16-1 荒 稔子 (窪田)

厳しかった猛暑が終わり、駆け足で来た秋の十一月十六日(火)、ワカバ会に、10 回生から高16までの十四名が出席しました。

第六1回生の福山信子さん(勝野)(1-A)の百歳のお誕生日を祝し、皆でタクシーに分乗して、ご自宅へうかがい、記念のお花に、とても喜んでいただきました。

その後、静岡松坂屋八階の「梅の花」で会食となり、九十一歳の染野つや(隅



田)(10-I)さんが、詩吟「峨眉山月の歌」(李白)を、説明をされてから、張りのある声で朗々と吟じられました。三田の先輩はすごい。その思いを益々強くしました。

近況報告と、和気藹々の歓談の後、希望者は静岡美術館で開催中のポーラ美術館コレクション展を観覧し帰途に着きました。

又、来年の同窓会でお元氣な皆様にお目にかかるのを楽しみにしております。

7 回生同期会にて

7-1 森 恵美 (大河原)

厳しい夏が終わり、台風一過の一日、明治神宮の近く「代々木倶楽部」にて第7回生同期会が催されました。静かな環境の中で二時間余りの和やかな昼食会でした。元木先生、大角先生のご出席のもと、前回以上、七十二名の出席者がありました。元氣で出席出来る喜びを感じました。元木先生は、「毎日静かに過ごせることが良いことだ」とおっしゃり、大角先生はバイクでおいでになり、夢は「これからも海外へ行きたい」との事でした。なお、卒業以来初めての出席者もあり、会話がはずんでいました。

健康で二年後も再会することを約して散会となりました。写真はクラス単位で撮影し、掲載しているのは、一組のもの。名残りつきなく二次会へと……。いつもお力添えを下さる、中村左都子様、齋藤節子様感謝します。



7 回生 1 組の皆様
(平成 22 年 11 月 14 日)

母校女子バレーボール部現役と卒業後 50 年ぶりに発足した O・G 会との交流

5-2 梅田 静子 (深澤)

天井の高い、明かるい体育館で男子チームと女子チームが隣り合って練習していました。高5回生から高7回生七名で現役選手の練習の模様を22年10月26日見学いたしました。皆さん均整のとれたスタイルをしていて、パスから始まり、若々しい声をあげながらレシーブ、アタック、サーブと流れるように動いて練習していました。その動きを見ている私達の身体も動いてしまいそうなりズミカルな練習風景でした。



なお現役チームはその六日後の11月1日、東京都高等学校体育連盟主催女子バレーボール新人大会で優勝したそうです。一昨秋、昨春に続く三回目の優勝ということで大変感激しました。山本和三先生のご指導のもと、更に練習を重ねて今春は日本一を目指して下さい。微力ながら応援に行きますよ。

オセンチ山は古墳か？

平成 22 年度東海地区ワカバ会

29-7 山崎 康一

港区教育委員会によるオセンチ山試掘調査(平成21年3月実施)結果の公表*を受け、9月19日の東海地区の交流会で、オセンチ山の話題を拙文にて紹介しました。



*「港区埋蔵文化財調査年報7」2010
「港区立赤羽小学校地内埋蔵文化財有無確認試掘等調査報告」

試掘は赤羽小学校改築に向けた埋蔵文化財調査が目的です。同校内で三方所を掘ったところ、近世の陶磁器片を多く出土しました。このためオセンチ

この冬、「はやぶさ」の活躍で日本中が沸いた時、JAXAの広報官として、TV等で解説をしてくださったのが三輪田真さん。ご記憶の方も多いかと思えます。この機会に、ワカバ会理事でもある三輪田さんに、仕事との関りについて寄稿していただきました。

私と仕事

22-6 三輪田 真

宇宙開発の仕事に入り、34年です。

三田高校生の頃にアポロ宇宙船の月着陸(1969年)をテレビで見、当時のアメリカと日本のレベルの差が大きいことに衝撃を受けたのが、進路を決めるきっかけでした。その後、大学で航空宇宙工学を学び、運良く当時の宇宙開発事業団に入って、希望が叶いました。入社後すぐにロケット開発担当となり、また米国の指導を受けている時代に、国産ロケット開発に携わりました。ロケットでも衛星でも開発には年数がかかり、夢どころかトラブルも付きものです。いろいろな技術的課題があり大変なときもありましたが、好きな仕事でもあり、夢中でした。その後、宇宙ステーションや産業連携の分野を経て、今は宇宙航空研究開発機構(JAXA)の広報の仕事をしていきます。「はやぶさ」で有名になりましたが、日本の宇宙開発もかなり実力が付いてきました。昔の自分を思い出しながら、とくに若い人に感動や興味をおこさせる情報発信を心がけています。



三田高校32回生同期会報告

32-7 渡辺 剛 (幹事会代表)

昨年11月6日(土)、卒後30年を記念した同期会を開催しました。日本各地やはるばる海外からも総勢約120名の同期生と、8名の先生方にもご参会いただきました。私は発案しただけで何の役にも立ちませんが、同期生専用の交流サイトを立ち上げ、事前から盛り上げるなど、一年以上前から着々と準備を進めてくれた各クラス幹事の尽力で、盛況のうちに終えることができました。何しろ卒業後30年も経っているの、仲間の顔と名前を思い出せるかどうか少々不安でしたが、懐かしい面々に会うと、その不安は一瞬にして吹き飛びました。みんな、若い!高校時代と同じ!三田の仲間っていいですね!しばらくは交流サイトも続きますので、今後もますます盛んに交流していただき、また再会したいと思えます。約束ですよ。



平成22年11月27日(土)に品川プリンスホテル宴会場で35回生同期会を開催いたしました。6月に準備会を発足。ワカバ会と連携して同期生の追跡。行方不明者が多く、難航。掲示板を立ち上げた結果、参加者120名、海外や地方からメッセージによる参加80名を超える大盛況でした。

当日は会場に入った瞬間から三田高生に戻り、当時のニックネームでメタボや生活習慣病自慢、「当時の痛いネタ」に話の花が咲きました。エンディングに卒業アルバムと海外からのメッセージをまとめたスライドショーで参加者一同30年のタイムスリップをしてきました。その後も2次会90名、3次会53名、4次会カラオケでは、白珠祭の思い出・小山恭敬先生の「長い夜」の熱唱で、ドラマのような同窓会ラブアゲインなく?? 幕を閉じました。



入学30周年記念 35回生同期会

35-4 長野 泰明



山が古墳である可能性は小さく、久留米藩有馬家下屋敷時代の人造の塚と考えるべき、と結論づけられました。オセンチ山は猫塚とも呼ばれ、日本三大化け猫の一つ有馬猫騒動の地であり、歌舞伎の題材にもなっています。交流会参加の10名は、猫騒動の怪奇譚や江戸の名所として名高い赤羽橋の浮世絵と、自ら在学习中の風景とを重ね合わせながら、楽しいひとときを共にすることができました。

ワカバ会行事に参加して



太平記ゆかりの鎌倉を歩く

8-6 玉井 周子(村上)

平成22年10月20日、鎌倉駅西口集合、十時出発、五回生安藤好子さんのご主人安藤頼雄さんにガイドをして頂きました。

葛原岡神社、後醍醐天皇に仕え倒幕計画に参加、捕えられこの地で断首された日野俊基が祭神です。化粧坂切通しは小雨にぬかるむ道を下りなすみました。東勝寺跡、腹切りやぐら、北條高時並びに一門以下ここに自害した人々の墓。宝戒寺別名荻の寺、鎌倉幕府を滅じ「建武の中興」を進めた、後醍醐天皇が足利尊氏に命じ、北條一族鎮魂のためにたてた寺。鎌倉宮、後醍醐天皇の第一子護良親王は京から連れてこられ幽閉の後家臣に殺害されたあわれを聞きました。

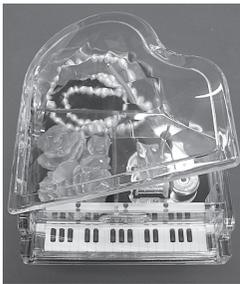
小雨が本降りとなりましたが鄙びた古都を満喫しました。宇野さんありがとう。江ノ島(弁天小僧ゆかりの宿)岩本楼で泊まりました。

「太平記」を読みなおそう。(平成二十二年十月二十日実施)

楽しかったシャドーボックス

内堀 協枝

「私でもできるかしら。」「絵をパレット毎に何枚かカットして重ねて貼る。平面的な絵を立体的に仕上げるのよ。」「上手に出来るかしら。切ったり貼ったり、不器用だし、目も……。」「先生が丁寧にやさしく教えて下さり手伝って下さるし。」「という友人の西上原節子さん(24-5)の言葉に誘われ、初めての挑戦でした。17世紀ヨーロッパで流行したデコパージュの技法のひとつで、アメリカで改良されたとのこと。歴史の重みを感じつつ、大好きなピアノの中への花のアレンジでした。一緒に参加された方に目をやると、同じ作品でも、切り方のりの貼り方、丸みのつけ方で皆違って見えます。それこそ作る喜びを味わいました。で



も先生による最後の神技のピンセットによる丸みづけで、作品がもつと輝きました。さも一人で作ったかの様に息子のフィアンセに写メールで送りました。(平成二十二年十一月十一日実施)

第一回和風ラッピング教室

19-1 小澤 敏子(杉山)

風呂敷。懐かしく暖かさを感じる物です。最近、ラッピングという事で華やかな印象も加わり、楽しみに参加致しました。



風呂敷の語源は、武士がお風呂に入る時、脱いだ着物を紋の付いた布に包んだという説明から始まり、優しく爽やかな日比先生の指先で、様々な形の容器が、スツキリと、或いは可愛らしく包まれていくのを見て、教えて頂きながら、驚いたり、感心したりの、あつという間の一時間半でした。

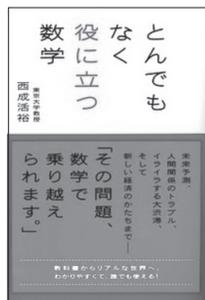
サイズ、柄、素材の異なる四角い布が包むのは勿論、便利なバックになったり、素敵な飾りになったり、目から鱗でした。立ち寄ったスーパーで、レジ袋を辞

退し、習ったばかりの「買い物包み」に荷物を入れ、ちよこつとエコで嬉しおしやれ気分帰路に着きました。(平成二十三年二月一日実施)

書籍紹介

三田高校理科教諭 内記 昭彦

「とんでもなく役に立つ数学」



朝日出版社発行
著者 西成活裕(東京大学先端科学技術研究センター教授・総長補佐)
平成二十三年三月二十日刊
本書は、「数学で世界をより良くしたい」と本気で考え、実際に取り組んでいる著者が、十二名の三田高生(64回生)と共に、数学を使って世の中の問題を解決していこうと、アイデアを展開していく4日間の特別授業を収録したものです。著者は様々な渋滞を分野横断的に研究する「渋滞学」を提唱し、「世界一受けた授業」「爆笑問題のニッポンの教養」等、多くのメディアでも活躍していらっしやいます。

なお、著者の義母様は第623回生の野嶋(瀬下)けい子様です。

情報ひろば

◆三田フィルハーモニーオーケストラ第20回記念定期演奏会
 日時：2011年7月24日(日) 13:15開場/14:00開演
 会場：大田区民ホール アプリコ(大ホール)
 (JR 蒲田駅東口徒歩3分)

入場無料・全席自由
 曲目：J. シュトラウスⅡ世/喜歌劇「こうもり」序曲
 J. シベリウス/《カレリア》組曲 作品11
 P. チャイコフスキー/
 交響曲第6番 口短調 作品74「悲愴」

指揮：横島勝人
 問い合わせ：info@mitapo.net <http://www.mitapo.net/>

※1990年結成、1992年から毎年演奏会を開催し、今年第20回を迎えます。結成当時は団員全員が学生でしたが、今ではアラフォー世代が中心に。仕事・家事・子育てと両立しながら、楽しく演奏しています。

◆「グリーンコンサート 23rd」延期のお知らせ
 わかば 68 号にて三田高吹奏楽部の演奏会が 3 月 27 日に開催予定とお知らせいたしましたが、東日本大震災のため、次のように延期になりました。

グリーンコンサート 23rd
 日時：平成 23 年 5 月 1 日 (日)
 13 時開場 13 時 30 分開演
 会場：銀座プロッサム中央会館(指導教諭 仲田賀一)

◆新刊紹介
 『わたくし、「田中パール」と申します』
 著者：田中菊代(三村)(8-ウ) 発行：2011年4月
 定価：非売品ですが、お問い合わせください。
 20 年余り生活をともにして、私に晩年の生き甲斐を与えてくれました愛猫「パール」が、夫と同じく、また私を残して逝ってしまいました。堪えがたい毎日を過ごしておりましたが、どうしたら忘れることができるかと思案の末、遂に猫の自叙伝を書くことを思い立ちました。しかし忘れるどころか、なおなお悲しみは深くなるばかりでございました。どなたかと悲しみを分け合うことでその悲しみを軽くできることを祈りながら、自費出版にこぎ着けた次第でございます。

追悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

		卒業回・組	逝去年月			卒業回・組	逝去年月
木村 暘		旧職員	平成21. 3	鳥山 壽美子 (森)		15-ア	23. 2
荒木 千代香 (柴田)	〈第六〉	1-C	22. 4	依田 雪子		16-イ	22. 8
大西 美喜子		2-A	22. 1	柳島 尚子 (荒蒔)		16-エ	22. 12
西田 ハナ (坂田)		2-D	13. 12	永田 千種 (山野)		16-オ	22. 7
白井 文 (前田)		2-E	22. 9	内村 多賀子 (木村)		18-ウ	22. 8
青山 葉子 (木村)		3-B	22. 12	小川 正子 (酒井)		18-エ	22. 12
遠矢 好江 (関)		4-ア	22. 10	中村 泰子 (斎藤)		18Sオ	22. 7
真鍋 昌子 (二階堂)		4-ア	14. 2	田中 美佐子		19-ア	21. 6
成島 貴美子 (柳川)		4-ア	13. 5	本多 千恵子 (本多)		19-ウ	22. 9
宮崎 敏子 (宮崎)		4-イ	22. 6	大井田 啓子 (渡部)		20-ア	22. 2
上野 加寿子 (山田)		4-ウ	22. 11	松井 慶子		20-オ	21. 12
山縣 カズ (佐藤)		4-オ	16. 1	石川 美恵子 (三田)		1-2	23. 1
篠崎 八重子 (細井)		5-ウ	18. 8	木村 美枝子		3-4	22. 10
福田 かつ (前田)		5-ウ	22. 7	松本 玲子 (小林)		4-1	21. 12
立川 光子		6-ア	22. 11	阿部 喜代子		4-6	21. 8
三上 まき (椎名)		6-オ	22. 1	石和 清子		4-6	21. 7
川合 昭子		7-ア	23. 1	中島 国治		5-2	22. 8
大江 敬子 (後藤)		7-ア	22. 11	長岡 徳子		5-5	23. 1
津田 千枝子 (末松)		7-イ	22. 10	竹内 綾子 (長)		5-7	22. 12
湊見 まち子 (石川)		7-オ	22. 1	山地 晴子 (橋本)		7-1	22. 7
平井 澄子 (辻)		7-オ	19. 9	矢島 揚子 (下鳥)		7-2	22. 11
井上 達子 (野津)		8-オ	22. 6	富田 健		7-2	21. 2
大金 章子 (玉井)		9-エ	21. 12	河合 滋		7-7	23. 3
富岡 みつ子 (牧野)		9-エ	22. 11	土肥 治子 (斎藤)		9-5	22. 7
平沼 ゆき (峰岸)		9-エ	22. 9	神田 紀之		11-5	21. 2
芦田 良子 (大槻)		10-イ	22. 11	日賀田 武蔵		11-5	22. 8
池田 キヨ子		10-ウ	22. 10	緑川 昌弘 (小栗)		13-4	20. 11
高尾 清子 (横田)		10-ウ	21. 3	池田 せつ子 (大石)		16-4	20. 7
戸塚 知恵子 (佐々木)		11-イ		有岡 陽子 (石原)		18-3	21. 3
相馬 純子		11-オ	22. 1	前田 懐子 (藤井)		20-6	22. 4
小川 三従 (服部)		12-イ	22. 3	村松 三生		26-6	23. 2
鳴海 美津子 (佐藤)		13-ア	22. 8	長谷川 信介 (鈴木)		28-3	23. 1
有馬 和子 (近藤)		14-ウ	22. 5	田中 幸子 (茂木)		28-4	22. 4
岡本 悦子 (谷口)		14-ウ	23. 1	梅原 葉子		29-5	22. 11
岡田 節 (藤村)		14-ウ	22. 11	斎藤 菜理子		32-4	22. 6
吉川 久美 (森田)		14-ウ	22. 12	米澤 教子		32-5	2. 7
大久保 佐記子(五島)		14-エ	22. 11	倉持 健郎		45-1	22. 7
				大西 哲夫		53-4	13.

平成23年度 先生方のご異動

(敬称略)

出				入			
職	氏名	教科科目	異動先学校名等	職	氏名	教科科目	異動前学校名等
副校長	角 順二		松原高校 (校長)	副校長	降幡 高志		久留米特別支援学校
主任教諭	近藤 聡	国語	両国高校	主任教諭	川口 泰之	国語	江北高校
教諭	大塚 宏二	日本史	両国高校	主任教諭	倉澤 俊仁	日本史	上野高校
教諭	大見 真由美	世界史	杉並総合高校	教諭	西 智之	世界史	新規採用
教諭	佐藤 敏明	数学	日比谷高校	主任教諭	小笠原 経述	数学	科学技術学園高校
教諭	宮田 和広	数学	芦花高校	主任教諭	佐々木 正敏	数学	日野台高校
教諭	森 賢	数学	桜修館中等 兼 都立大付属高校	教諭	二田 詩織	数学	新規採用
主任教諭	酒井 秀樹	化学	小山台高校	主任教諭	平山 美知子	化学	小山台高校
教諭	伊藤 克博	生物	小平高校	主任教諭	前島 緑	生物	千代田区立九段中等教育学校
教諭	井波 美子	英語	美原高校	主任教諭	関口 美佐緒	英語	千代田区立九段中等教育学校
教諭	添田 拓	英語	町田高校				
				実習助手	山田 和弥	理科実習助手	八潮高校
				非常勤教員	越部 良一	数学	都立大学 附属高校
主任	森谷 顕	事務	東京都立品川特別支援学校	主任	今西 研二	事務	主税局
主事	高遠 昌弘	事務	総務局 (主任)	主事	浦川 健太郎	事務	新規採用

御寄付御礼

- ◆第六 7 - イ 津田千枝子 (末松) 様のご遺族様より 10,000 円
 - ◆第六 14 - ア 近藤京子 (杉田) 様より 100,000 円
 - ◆第六 19 回イ組の有志の皆様より 10,000 円
 - ◆第六 20 - ア 大井田啓子 (渡部) 様のご遺族様より 10,000 円
 - ◆三田 3 - 4 木村美枝子様のご遺族様より 30,000 円
- 以上のご寄付をいただきました。会の運営のために使わせていただきます。ありがとうございます。

☆振込詐欺にご注意!!

三田警察より、三田高卒業生の名簿を使用したと思われる悪質な振込詐欺の電話が多くなってきたとの報告がありましたので、くれぐれもご注意ください。

ワカバ会駐車場

ワカバ会は、大田区鶴の木に 28 台駐車可能な月極駐車場を所有しています。月々の駐車料は皆様からの維持会費同様、ワカバ会の貴重な財源として有効に使わせていただいております。しかし、現在 9 台分の空きがある状態です。お近くにお住まいの方、ぜひご利用ください。また、お知り合いの方をご紹介いただければ幸いです。

短期のご契約も歓迎です。駐車料金は一ヶ月 25,000 円です。その他お問い合わせはワカバ会事務局までご連絡ください。

所在地：大田区鶴の木 3 - 32 - 10

事務局だより

◆事務局では、皆様のプライバシーを守るため、名簿の申し込みや問い合わせに対しては、慎重に対応しております。

クラス会や同期会開催時に、幹事の方へ有料で名簿、宛名ラベルを提供しております。ご利用の際は、事務局に用意している申込書にご記入の上、お申込みください。なお申込書はホームページよりダウンロードしてお使いいただけます。

編集後記

◆震災、原発、計画停電。あの日から全てが変わってしまった気もしますが、ふと見やれば今年も桜が美しい。何気ない日常を大切にしていきたいものです。(T)

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは 電話・FAX・e メールにて、事務局まで



ベージュ	ピンク	薄紫
からし色	桜色	青紫
オレンジ	ワイン色	紫

タオルマフラー 各 800 円



New ピンク 黄 緑
ミニタオルハンカチ 各 350 円

